

宇部港湾・空港整備事務所からのお知らせです

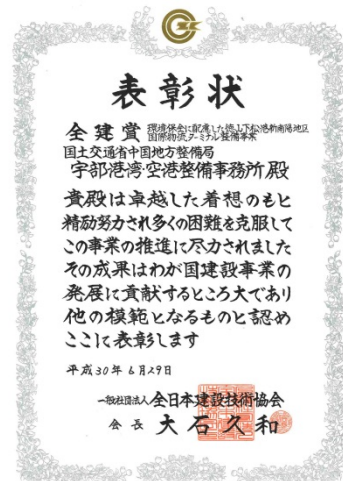
「環境保全に配慮した徳山下松港新南陽地区国際物流ターミナル整備事業」が平成29年度全建賞を受賞しました。

当事務所では、徳山下松港新南陽地区において、輸送船舶の大型化に対応するため、平成9年度より国際物流ターミナルの整備を行ってきました。本事業では、水深-12mの岸壁や航路・泊地の整備とともに、航路浚渫などで発生する浚渫土砂の一部を有効活用した人工干潟の造成を行い、平成28年度に完成しました。今般、事業による成果等が評価され、(一社)全日本建設技術協会の平成29年度全建賞を受賞しました。

なお、全建賞の表彰式は、平成30年6月29日(金)東京都千代田区アルカディア市ヶ谷3階「富士の間」で開催され、当事務所の山岸所長が出席しました。

【受賞の概要】

- タイトル : 環境保全に配慮した徳山下松港新南陽地区
国際物流ターミナル整備事業
- 受賞者 : 国土交通省 中国地方整備局
宇部港湾・空港整備事務所
- 受賞理由 : 事業により、石炭の一括大量輸送が可能となり
大幅な海上輸送コストが削減される点や、干潟
造成場所がアサリ育成場となっている点も評価。



表彰状授与の様子



表彰式会場の様子

平成29年度全建賞は、全国から317事業の応募があり、81事業(うち港湾部門9事業)が受賞しました。

本事業では、港湾の施設整備と併せて干潟造成を行うことで、物流コストの削減・産業の競争力強化に加えて、海域環境の再生も図られるなど、多くの効果が発揮できたものと考えています。今後も宇部港湾・空港整備事務所は効果的な港湾整備を着実に実施してまいります。